



講師  
鉄道写真家 **武川 健太 さん** =南方町出身=

写真は正解も間違いもなく、シャッターを押すだけで撮れる。とても簡単に始められる人生を豊かにする道具だ。

小さな変化が尊くなり、人生の一期一会を感じられる。過ぎゆく美しい一瞬を永遠にする。カメラは楽しい。登米にはまだまだ知り得ない美しさが溢れているはずだ。

## 令和6年度登米写真大学



# 武川ゼミ

Cam x Lg = E<sup>2</sup> (カメラ x 光 = 感動<sup>2</sup>)

カメラ/写真は人生を豊かにする。撮りたいものを確かな技術(光学)で撮影すれば、感動や楽しみ、ワクワクが二乗になる。

### 受講生作品ギャラリー



「伊豆沼に妖怪!？」  
木綿康雄さん=石巻市=



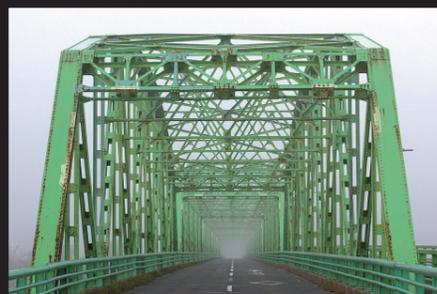
「ランランのみな  
みかた千本桜」  
佐藤正弘さん  
=南方町=



「霧の錦桜橋」  
葛西智彦さん  
=迫町=



「風彩」(治山ダム)  
石田富美男さん  
=南三陸町=



「小径/アジサイ小町」  
中村肇さん  
=石巻市=

令和6年6月30日から12月7日まで、全7回の講座



早朝の伊豆沼で冬の渡り鳥撮影にチャレンジ

**市**では、受講者が確かな写真技術を学び、撮影・発信することで、市の魅力をより多くの人に知ってもらおうと、写真家の武川健太氏を講師に迎え、写真講座を開催しました。

写真で伝えるチカラを生み出す学び体験

講座は、「スマートフォンカメラ・コンパクトデジタルカメラ」「ミラーレス一眼レフカメラ」の2コース。

受講生の皆さんは、みやぎの明治村やチャチャワールドいしこし、伊豆沼などを会場に、実践的な講義と実習で、撮影の手法やテクニックを学びました。



仙台市での作品展に受講生27人の119作品を展示

市では、今後も本市の魅力発信につながる取り組みを進めていきます。情報は、市公式ホームページや市公式SNS「トメのこめじルシ」などで随時更新しますのでご覧ください。

を通して受講生が撮影した写真の一部は、市公式ホームページに掲載したほか、仙台市のギャラリーで作品展を開催。多くの人が観覧に訪れました。



総勢44人が卒業。講座で学んだ成果を発表しました。

### 令和7年度登米写真大学 受講生を募集します

カメラ、写真が好きな人、上手になりたい人、登米市で人生を楽しみたい人、誰でも申し込みできます。  
【日程】4月12日(土)～令和8年2月(全11回予定)  
【受講料】無料  
【募集人数】30人(申込先着順)

【申込期間】2月26日(水)から受け付け開始  
【申込方法】電話、ファクシミリ、電子メール ※詳細は、市公式ホームページをご覧ください  
【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(ふるさと定住係) ☎0220(23)7331



出会いと再発見の風景、たくさんの驚きと感動。最終「楽」歴は登米写真大学武川ゼミ卒になりました。



プロの話を直接聞くのは大変勉強になり、撮影のヒントもたくさんいただきました。



写真を撮ることを楽しく学習。これからはっ!とするような写真を撮っていきたいと思います。



武川さんの体を張った授業も楽しく、写真の奥深さを知りました。



登米写真大学は、ぼくの人生を変えてくれました。毎回ドキドキ、ワクワクできる世界一楽しい学校です。